

■ グループ紹介

住友金属鉱山(株)

1. 現況と特色

当社は我が国の代表的総合非鉄メーカーとして、また住友グループの各事業の母体として発展してきましたが、それを支えてきたものに、その長い歴史の中で培ってきた多方面にわたる優秀な技術があります。

1986年1月、当社がプラント輸出した中国の貴溪銅製錬所が稼動を始めましたが、この受注は生産工程をコンピューター制御した高効率、無公害の東予工場（愛媛県）の技術が高く評価されたものです。また、米国モレンシー鉱山への経営参加に代表される原料鉱石の安定確保、東洋一の埋蔵量が推定たれる菱刈金山（鹿児島県）開発第の既存部門の充実とともに多角化部門への積極的展開も、見逃すことにはできません。シンガポールを含む国内外5拠点で事業を展開している電子材料をはじめ金属加工、原子力燃料、新素材、建材そしてエンジニアリング等々、当社の多様化、高度化を生み出すテクノロジーは長い歴史の中で蓄積され開発されたノウハウの結晶なのです。

2. 事業展望

飛翔するオプトエレクトロニクス開発

86年1月に発表された日刊工業新聞社選定による85年十大新製品賞のひとつに当社のGGG（ガドリニウム・ガリウム・ガーネット）レーザースラブが選ばれています。酸化物単結晶GGGを利用したレーザーは、半導等の微細加工用だけでなく、炭酸ガスレーザーに頼っていた機械加工用の分野にも応用でき、しかも操作が簡単で低価格という利点を持つ画期的な新製品です。82年に発足した電子材料研究所ではガリウムひ素等の半導体結晶、光通信等に欠かせない光導波路材料および光磁性体材料、半導体デバイス技術を進化させる薄膜結晶等々の研究を進めていますが、前述の固体レーザーに関する受賞もそれらと共に進められた研究活動の“結晶”なのです。最先端のニーズに対応できる素材を提供する—それが当社に与えられた使命であると我々は考えます。

3. 事業内容

当社の主要事業は次の通りです。

非鉄金属部門

銅、金、銀、白金、パラジウム、鉛、亜鉛、ニッケル、フェロニッケル、コバルト、セレン、テルル、カドミウム、酸化物等化成品、高純度金属、真空溶解合金、溶射用合金粉、スパッタリングターゲット

金属加工部門

棒、条、線、圧延異形条、切削異形条、ラジエーター材、コネクター材、端子圧着機、精密接点、精密プレス品、精密鋳造品、精密金型、射出成形粉末冶金製品、セラミックコート品、TVブラウン管フレーム

資源部門

金鉱石、資源探査・開発技術

エレクトロニクス部門

リードフレーム、アロイプリフォーム、ボンディングワイヤー、厚膜ペースト、GaAs、Gap、YAG、GGG、LN、ゲルマニウム、希土類磁石、光アイソレーター、光磁気ディスク

潤滑剤・触媒部門

自動車用・工業用固体潤滑剤、脱硫触媒

原子力部門

二酸化ウラン粉末、核燃料サイクル関連技術

建材・土木建設部門

軽量気泡コンクリート、山岳土木、都市土木

4. 現況

資本金 260億47百万円（平成元年3月末現在）

従業員 2,998名 （　　〃　　）

売上高 4292億円 （平成元年3月期）

本社 東京都港区新橋5-11-3

支店・営業所 5（大阪、名古屋、札幌など）

事業所・工場 9（新居浜、青梅、大和など）

研究所 3（市川、青梅、新居浜）

5. おわりに

当社は品質重視をベースに得意先の信頼に応えるとともに、今後共時代を先取りした先端技術の開発に力を注いでいく所存であります。

所在地：〒105東京都港区新橋5丁目11-3

（文責：開発企画部参事 白石勝造）